

理学療法基礎評価学

[演習] 第2学年 前期 必修 2単位

《担当者名》 佐々木祐二 y-sasaki@hoku-iryo-u.ac.jp 武田涼子 阿部隆宏 只石朋仁 中村宅雄 佐藤一成 多田菊代
谷口翔平 用田歩

【概要】

理学療法評価は、効果的かつ安全な理学療法を実施するための基盤となる重要な理学療法プロセスである。本科目では、評価の意義や目的、その一連の進め方（情報収集、結果の統合と解釈、再評価まで）について学修する。また、理学療法における基本的検査・測定技術であるバイタルサイン測定、形態測定、関節可動域（ROM）測定、徒手筋力検査（MMT）について講義および演習を通して習得する。

【学修目標】

<一般目標>

理学療法評価における基本的な検査・測定手技を理解し、安全にかつ正確に実施できる能力を身につける。

<行動目標>

1. 理学療法評価の意義と目的を説明できる。
2. 情報収集（問診・観察）の目的を理解し、基本的内容を実施（聴取）できる。
3. バイタルサイン測定の目的を説明し、基本的測定ができる。
4. 触診の意義を理解し、骨および主要な筋を触知できる。
5. 形態測定の目的を説明し、基本的手技を実施できる。
6. 関節可動域（ROM）測定の目的を説明し、基本的手技を実施できる。
7. 徒手筋力検査（MMT）の目的を説明し、基本的手技を実施できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ） 2	オリエンテーション 評価学概論、診療記録	本授業の概要、学習目標・内容、スケジュール、学習方法の説明、評価とは、診療記録、記録方法	佐々木祐二・中村宅雄
3 ） 4	情報収集・面接 疼痛検査	情報収集・面接（問診と観察） 疼痛検査	只石朋仁・佐藤一成
5 ） 6	触診	触診とは 骨・ランドマークの触診	佐々木祐二・阿部隆宏・ 武田涼子・用田歩
7 ） 8	バイタルサイン	血圧、脈拍、意識レベルの測定	阿部隆宏・多田菊代
9 ） 10	形態測定	四肢長、周径の測定	阿部隆宏・武田涼子・只 石朋仁・中村宅雄
11 ） 12	関節可動域（ROM）	関節可動域（ROM）の測定 肩・肘・手関節	多田菊代・只石朋仁・佐 藤一成・用田歩
13 ） 14	関節可動域（ROM）	関節可動域（ROM）の測定 股・膝・足関節	多田菊代・阿部隆宏・中 村宅雄・佐藤一成
15 ） 16	関節可動域（ROM）	関節可動域（ROM）の測定 前腕・手指・足部など	多田菊代・武田涼子・阿 部隆宏・用田歩
17 ） 18	総合演習	バイタルサイン・関節可動域（ROM）測定に関する総 合演習を行う	担当者全員

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
19) 20	触診	筋(上肢)の触診	佐々木祐二・谷口翔平・ 多田菊代・用田歩
21) 22	筋力	徒手筋力検査(MMT)の実施 肩・肘・手関節	佐々木祐二・只石朋仁・ 中村宅雄・佐藤一成
23) 24	筋力	徒手筋力検査(MMT)の実施 肩甲帯・前腕	佐々木祐二・阿部隆宏・ 只石朋仁・谷口翔平
25) 26	触診	筋(下肢)の触診	佐々木祐二・谷口翔平・ 多田菊代・用田歩
27) 28	筋力	徒手筋力検査(MMT)の実施 股・膝・足関節	佐々木祐二・中村宅雄・ 佐藤一成・谷口翔平
29) 30	総合演習	形態測定・徒手筋力検査(MMT)に関する総合演習を行う	担当者全員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

授業内小テスト 15%

実技試験 70%

課題・レポート 15%

試験に関するフィードバックの方法

- ・授業内小テスト：実施後に模範解答を提示する。
- ・実技試験：試験実施後、全体に対するフィードバックを行う。
希望者に対しては個別にフィードバックする。

【教科書】

中山恭秀 編 「Crosslink 理学療法学テキスト 理学療法評価学」 メディカルビュー社 2022年

津山直一 他 訳 「新・徒手筋力検査法 原著第10版」 協同医書出版 2020年

【参考書】

日本理学療法学会連合 理学療法標準化検討委員会 編 「日本理学療法学会連合版 徒手筋力検査法」 メジカルビュー社

松澤正・江口勝彦 著 「理学療法評価学 第6版補訂版」 金原出版 2022年

林典雄 著 「運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢 改訂第2版」 メディカルビュー社 2022年

林典雄 著 「運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 改訂第2版」 メディカルビュー社 2022年

【備考】

実習で使用するため、メジャーを購入すること。幅の細いものが望ましい。

【学修の準備】

予習は、授業内容に必要な解剖学および運動学に関する基礎知識の復習と、各検査・測定手技の動画教材の確認を行うこと(80分)。

復習は、授業で学修した検査・測定手技について、教科書・配布資料を参照しながら実技練習を行い、手技の定着を図ること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

(DP2) 理学療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

(2026年度・リハビリテーション科学部)

【実務経験】

佐々木祐二（理学療法士） 武田涼子（理学療法士） 阿部隆宏（理学療法士） 只石朋仁（理学療法士） 中村宅雄（理学療法士） 佐藤一成（理学療法士） 多田菊代（理学療法士） 谷口翔平（理学療法士） 用田歩（理学療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、理学療法プロセスの基礎となる評価の方法について、基本的知識の講義及び実技を指導する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している